

金沢大学附属特別支援学校



2018年度 防災教育 チャレンジプラン 活動報告



防災教育チャレンジプランとは

全国で取り組まれつつある防災教育の場の拡大や質の向上に役立つ共通の資産をつくることを目的に、新しいチャレンジをサポートする取組です。防災教育チャレンジプラン実行委員会(内閣府、国立研究開発法人防災科学技術研究所)が主催しています。本校は2018年度の事業に応募し採択され、この一年間以下のような活動に取り組みました。

チャレンジプラン応募の目的

目的は次の二つです。

- 知的障害がある児童生徒が主体的に、他者との関わりを楽しみながら学ぶ防災学習の在り方を探る。
- 防災学習や防災研修会を通じて学校・保護者と地域とのつながりを作り、児童生徒、教員、保護者、地域住民の防災意識を高める。

取り組んだこと

取組には、育友会父親部会、味噌蔵地区民生委員・児童委員協議会の皆様にご協力していただきました。

- 小学部、中学部、高等部それぞれの学部で一年を通じて防災学習に取り組みました。取り組んだ学習活動を「防災学習実施カード」としてまとめ、今後の学習活動の資料としました。また、防災学習に取り組む子供たちの様子を記録し、災害時の支援の情報とするために防災アセスメント表(試案)を作成しました。
- 生徒会から児童生徒に身を守る大切さや技術を伝えたり保護者を交えた避難訓練を実施したり、避難訓練の在り方の改善を行いました。
- 学校と育友会父親部会が共催し、防災講習会・研修会を開催しました。地域住民にも案内し34名の方が参加しました。
- 3年計画で備蓄している物品を防災学習や研修会に活用するとともに、新たに物品を購入し備蓄品を充実しました。
- これまで、学校からの児童生徒の安否についての連絡方法は、一斉メール配信、災害時優先ダイヤルによる電話連絡でしたが、新たに災害伝言ダイヤルの使用訓練を行いました。また、現在LINEによる連絡方法を検討中です。

成果

- 取り組みを通して児童生徒や教員、参加保護者、地域住民の災害と防災に対する関心が高まりました。
- 具体的な体験を通じて、児童生徒個々に応じて身の安全を守る知識や技能が向上しました。
- 防災学習実施カードや児童生徒の防災アセスメント表(試案)を作成することができました。
- 中学部、高等部では地域との協働活動に取り組み、地域の方との交流が進むとともに、地域の方から感謝や励ましの言葉をいただいて自己効力感が高まりました。
- 学校、保護者、地域住民が防災講習会・研修会を通じて連携することの必要性を共有しました。また、この研修会は今後も継続して取り組むこととしました。

各学部で取り組んだ防災学習

52の単元や題材で防災学習に取り組みました。それらを災害の種類別にまとめたのが下の表です。防災学習を実施するにあたり、以下の点に留意して取り組みました。

- 体験を重視する。
- わかる・できる(学ぶ)楽しさを感じる。
- 知ったこと、できたことを他者に伝える・伝え合う。
- 災害の恐ろしさだけを強調しない。

金沢大学附属特別支援学校

平成30年度 防災学習実施結果(災害種別表)

学部	小学部		中学部		高等部	生徒会・指導員
	全体	学級	全体	学級		
共通	「ダンゴムシやお馬になろう」 「あつまれー」(体育) 「消防署に行こう」(集会) 「学習発表会・防災を伝えよう」(生徒)	学校探検しよう(低学年・生徒) 学校のよわりにならがあるかな？(高学年・生徒)	「四季の変化」(集会) 「災害情報を得るための方法を知ろう」(集会) 「ヘルメットの大切さを知ろう」(集会) 「大声(助け)でコンテスト」(集会) 「災害体験～防災研修センター訪問～」(特活)	「万歩計で避難マップを作ろう」(生徒)	「地域の人と交流しよう」(集会) 「学校周辺の防災マップ作り」(集会) 「地域、保護者の方と防災研修センターに行こう」(集会)	避難訓練
火災	消防署見学・体験(特活) 「火事になったら」(集会)	「煙から身を守ろう」(各学年・中・高学年との合同学習・生徒)	「火の怖さ・煙の怖さを知ろう」(集会)	「火と煙の怖さを伝えよう」(集会) 消防学校、消防預備員、消防員体験		火災時避難訓練
土砂災害	「安全に避難しよう」(集会)	「完全といっしょにひなんしよう」(低学年・生徒) 「がけくずれから身を守ろう」(中高学年・生徒)	「土砂災害について学ぼう」(集会)			土砂災害避難所を時避難訓練 児童生徒引き渡し練習 避難下校練習
地震	消防署見学・避難訓練(特活) 「地震があったら」(集会)	「防災リュックを届けてみよう」(各学年・生徒) 「災害食を食べよう」(各学年・生徒) 「防災ボールバスケット」(中・高学年・生徒)	「仰向けに寝てみよう」(集会) 「地震のしくみと揺れ体験」(集会)	「防災リュックってなに？」(生徒) 「防災リュックの中身を調べよう」(生徒) 「防災グッズを作ろう」(生徒) 「防災モバイル生活しよう」(準備編) ～身を守るために必製6物～(総合) 「防災モバイル生活しよう」(準備編) ～避難所での生活～(総合) 「防災モバイル生活しよう」(準備編) ～防災食を作ろう～(準備編) 「防災モバイル生活しよう」(当日編)	「防災リュックの中身を確認しよう」(生徒) 「学校の防災品調べ」(集会) 「災害食調べ」(集会) 「防災食作り」(集会) 「身を守るために必製6物」(総合) 「避難所での生活」(総合) 「地域の人といっしょに災害食を作ろう」(総合)	地震時避難訓練 シェイクアウトいしかわ
風水害	「天気がしらべ」(日誌)		「大雨と洪水」(集会) 「暴風体験」(集会) 「雨の音?～音～」(集会)			
その他			「熱中症に注意」(集会)	「天候と衣類」(生徒)		不審物対応訓練 所在不明児童捜索訓練

防災講演会・防災研修会

2018年9月1日(土)本校において防災講演会と研修会を開催しました。地域の方34名を含む70名の参加がありました。

講演会では、金沢大学の青木賢人先生に森本・富樫断層地震が発生した際のこの地区の被害想定についてお話をいただきました。

研修会では、災害食の試食や備蓄品の使用体験を行いました。



青木賢人 金沢大学准教授による講演



牛乳パックオープンのホットドッグ



滝川猛 アドバイザーによる講話



簡易トイレの組立演習

現在の備蓄状況

本校では、現在学校と育友会が連携して年に3回防災委員会を開催し、災害時の対応準備を進めています。3年前より計画的に備蓄をしてきました。現在の主な備蓄状況をお知らせします。

備蓄品	数量	備蓄品	数量	備蓄品	数量等
貯水タンク	1	担架	3	水	2ℓ 360本
濾過器	1	ラジオ	5	食料品	100人3日間分
発電機	1	災害用毛布	5	食器	100人3日間分
投光器	1	応急手当キット	3	その他 消耗品等	カセットコンロ、ボンベ トイレ、保温シート LEDランタン 懐中電灯、新聞 ビニール袋等
組立式テント	2	防水シート	16		
簡易トイレ	1	ヘルメット	50		

2018年度防災教育チャレンジプラン活動報告

発行/2019年2月20日

発行者/金沢大学人間社会学域学校教育学類附属特別支援学校 校長 山本 仁

〒920-0933 石川県金沢市東兼六町2番10号 TEL(076)263-5551 FAX(076)264-2275

<http://partner.ed.kanazawa-u.ac.jp/futoku/>

印刷所/ソノダ印刷(株)